

「遠山椿吉記念 健康予防医療賞」

4 月 1 日から公募開始

平成 27 年 6 月末日締切で、予防医療をテーマとした原著論文を募集

一般財団法人東京顕微鏡院

医療法人社団こころとからだの元氣プラザ

「遠山椿吉記念 健康予防医療賞」募集について：

平成 27 年度は、将来の予防医療のテーマに先見的に着手したものを重点課題とします。

たとえば、「近い将来の健康診査の方法論を変えるようなもの」「健康診査の受診の機会を高め、医療経済面での効果がみられ、健康診査の精度向上に資するもの」「認知症の予防と進行の遅延に関する研究など、超高齢社会構造における予防医療に関するもの」「公衆衛生の発展、疫学研究に資するもの」「こころの健康づくりにおける研究」「性差医療に関するもの」などです。

対 象：日本を拠点に活動する個人の研究者または研究グループ

応募書類：所定の応募・推薦用紙、受賞候補者略歴、業績一覧、原著論文

応募期間：平成 27 年 4 月 1 日より 6 月 30 日（消印有効）

副 賞：賞金 100 万円

※ 原則として最近の業績を評価対象とします。業績とは、この 5 年間に関連学会で発表された原著論文とします。

※ 遠山椿吉賞選考委員会において論文を選考の上、1 件を採択し、10 月に発表します。

※ 優秀な研究成果をあげており、これからの可能性が期待できる 50 歳未満の応募者（年齢は応募時点）に対し、研究の更なる発展を奨励することを目的として、山田和江賞を設け、顕彰します。
山田和江賞の受賞は将来の遠山椿吉賞の応募・受賞を妨げるものではありません。

詳しくは、東京顕微鏡院ホームページ <http://www.kenko-kenbi.or.jp/> をご覧ください。

貴学会の学会誌・会報・ホームページ等にて、告知いただければ幸いです。

本賞の趣旨：

病を早期に発見し、発見したものを治療へつなげるという予防医療の基本目標について、地道に社会への貢献を追求する研究者を顕彰する賞と位置づけています。

遠山椿吉とは：

遠山椿吉は、明治時代に、日本で初めて臨床検査の民間専門機関「東京顕微鏡院」を創立し、人々のいのちを守るため公衆衛生に力を尽くした細菌学者・医学博士。初代東京市衛生試験所所長を兼任し、東京に安全な水道水の供給を実現して伝染病予防に努め、予防医療を提唱し健康診査や衛生指導を実施しました。臨床検査、飲料水等の検査、顕微鏡技術者養成、顕微鏡検定、学会誌発行などを展開するとともに市民に対する啓発活動に努めました。

明治 41 年ロベルト・コッホ博士来日の折、遠山椿吉博士は、華道に造詣が深かったことから、コッホ博士、北里柴三郎博士を招いて「生花の会」を催し、共にひと時を過ごしています。

添付：第 4 回 健康予防医療賞ご案内、公益事業レポート 2013（P5～8：第 3 回 健康予防医療賞）

報道機関からのお問い合わせ先：

一般財団法人東京顕微鏡院 公益事業室 担当 水戸、三橋（みつはし）

TEL:03-5210-6651 メール: mito@kenko-kenbi.or.jp

ホームページ：<http://www.kenko-kenbi.or.jp/> <http://www.genkiplaza.or.jp/>

遠山椿吉賞について

創業者遠山椿吉、生誕 150 年没後 80 年である平成 20 年度に創設し、「食と環境の科学」部門、「健康予防医療」部門を、隔年で選考顕彰しています。

目的：

遠山椿吉賞は、公衆衛生の領域で、人びとの危険を除き、命を守るために、先駆的かつグローバルな視点で優秀な業績をあげた個人または研究グループを顕彰し、公衆衛生の領域での学術向上に寄与することを目的とします。

対象 日本を拠点に活動する個人の研究者または研究グループ

- ・原則として最近の業績(調査、研究、技術の開発など)を評価対象とする。
- ・業績とは、この 5 年間に関連学会で発表された原著論文、または、それに準ずる活動報告書とする。
- ・授賞業績の要旨を両法人発行の広報誌に掲載し、記念講演を行う。記念講演の講演録を発表する権利は、一般財団法人東京顕微鏡院に帰属する。

選考条件

- ・既に他の顕彰などの対象となったものは、選考資料として採用しない。
- ・遠山椿吉賞の応募・受賞は年齢の制限を設けない。
- ・優秀な研究成果をあげており、これからの可能性が期待できる 50 歳未満の応募者に対し、研究の更なる発展を奨励することを目的として、山田和江賞を設け、顕彰する。山田和江賞の受賞は将来の遠山椿吉賞の応募・受賞を妨げるものではない。

以下の 4 点で総合評価する。

- 1.公衆衛生への貢献度
- 2.公衆衛生向上をはかる創造性
- 3.予防医療の実践
- 4.これからの人の育成

選考基準

申込み

公募によるものとし、関係学会、団体等の推薦または本人の申請による。
所定の応募・推薦用紙に、受賞候補者略歴と業績一覧、原著論文を添付のうえ、期限内に申し込む。

応募期間

平成 27 年 4 月 1 日より 6 月 30 日(消印有効)

応募と選考の流れ

自薦または学識者からの推薦を受けて、所定の用紙に記載のうえ、論文または活動報告書等書類を添付して、事務局宛郵送。

選考委員会において選考の上受賞候補者 1 件を採択し、10 月に両法人合同の経営会議の承認を経て受賞者を決定。

受賞者は、平成 28 年 2 月 2 日に予定される授賞式に出席し、記念講演を行うこととする。

賞および副賞

賞状、記念品。副賞として 100 万円。

遠山椿吉とは：

明治時代に、日本で初めて臨床検査の専門機関「東京顕微鏡院」を創立し、技師の養成、学会誌発行、市民への普及啓発など公衆衛生に力を尽くした細菌学者、医学博士。初代東京市衛生試験所所長を兼任し、伝染病予防のため水質に着眼し、東京に安全な水道水の供給を実現。予防医療を提唱して健康診査を実施しました。